

工事部 福田 豊



安心して任せて頂けるために、仕事を早く覚えられるよう一生懸命頑張ります！

工事部 先間 裕人



日々勉強しながら新しい事の発見で充実しています。一日でも早く一人前の現場監督になれるように努力します！

総務部 松原 理恵



精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願致します。見かけましたら声を掛けて下さると嬉しいです。

営業部事務 新宮 沙織



この度ご縁あって、森長工務店で働く事となりました。一日でも早く皆様のお役に立てるように努力いたします。

安全衛生協会主催 第3回 ボーリング大会



恒例行事になりました、安全衛生協会主催のボウリング大会を7月29日(土)に開催しました。前回同様、会場は新大阪イーグルボウルを全レーン(60レーン)貸切にし、大盛況でした。参加していただきました皆様には、この場をお借りしてご参加のお礼と進行のご協力をいただきました事を感謝申し上げます。



チーム一丸となって頑張ってます！！



今回で第3回目の開催となりましたボウリング大会は、弊社の行事でも数少ない「安全衛生協会」主催という事もあり、弊社主催の行事と違い、懇親会の司会や乾杯挨拶・中締め挨拶等を協会の皆様にご協力いただく事で、より一層、和気あいあいとした雰囲気で行われたと感じています。弊社、本社勤務の社員にとっても職人さん達と接点を持つ場はコミュニケーションを図る大切な場であり、楽しい場として毎年楽しみにしています。

総勢約200人以上で全レーン貸切！



橋目所長がリーダーのチームがチーム優勝！



表彰式・懇親会は隣接のホテルメルパルクにて



第4回も開催予定ですので、更楽しんでいただけるように実行委員メンバーを中心に企画していきますので次回も多数のご参加を心よりお待ちしております！



皆様個性がある投球フォームで観ているだけで楽しいです！



- 巻頭メッセージ P.1
- 消防訓練の協力活動レポート P.2
- 竣工日より・進行中現場
注目記事・お客様訪問 P.3
- ボーリング大会 P.4
- 新スタッフ紹介・その他

父親の教育

「手が切れてもかまわん気で握ってみい。」と言われると、父が無情に思えてうらめしかった。しかし少し深い疵をすれば煙草をつけて手拭いをさいてくってくれるのは父であった。手も足も草疵で夜は風呂に入ると痛んで涙が落ちるほどであったが、百姓はここをこえて来なければならぬのだと父の言葉はきびしかった。

(宮本常一「父親の躰」)

日本を代表する民俗学者の宮本常一は、瀬戸内海の周防大島に百姓の子として生まれました。本格的な工業化が始まっていなかった戦前の日本では、百姓の子は百姓を継ぎ、漁師の子は漁師を継ぐのが自然のことであってみれば、子が将来路頭に迷わぬために、幼い頃から仕事を教えるのが、父親としての使命であり愛情でした。それだけにその教育には切実な厳しさがなければならなかったのです。そして、自然の摂理や仕事の所作・態度を学ばせる中で、仕事ひいては人生に対する考え方を習得させたのでした。

戦後の日本では、経済成長によって工業化が進み、父の職業を子供が継ぐことも少なくなりました。それに従って父親は仕事を通じて我が子を教育する機会を失い、その使命からも解放され

てお気楽な立場に立つと同時に、その権威ささえも手放すことになったのです。

だからと言って、これまで父親が果たしてきた職業を通じての教育の役割が不要になった訳ではない筈です。時代は変われど、人は仕事を通して社会を知り、人生を学ぶことに変わりはありません。とすれば、父親に代わって企業がその役割を担わねばならなくなっているのではないのでしょうか。

社員は本人の気持ちいかんにかかわらず、その人生を会社に預けてくれています。その社員に会社が「大きな家族」となって愛情を注ぎ、その愛情故の厳しさをもって教育していくことが、今ほど求められている時代はないのかもしれませんが。



代表取締役 森長 敬

編集後記

MORINAGAPRESS第14号編集にあたり、ご協力並びにご支援いただきました皆様へ感謝申し上げます。発行回数を増す毎に、ご覧いただいた方々からの感想をいただく機会も増え嬉しく感じると共にご覧いただき感謝を申し上げます。

さて、今号では、当社が地域の防災支援の一環として活動しています「消防署への訓練場の提供」を記事にしております。火災時の実地訓練は建物を破壊してしまう為、なかなか行う機会が少ないとの事で、当社では解体のご依頼を頂いた際にお施主様のご理解ご協力のもと実地訓練の場として提供させていただいています。建設会社として、これからも様々な方法で社会貢献に取り組んでいきたいと考えております。(編集担当)



株式会社カナ工
常務取締役 中澤 孝様

弊社が最初にお世話になった大きなことと言え、昭和六十二年の「高倉工場（現弊社の子会社である株式会社カナエシーエスパック）」でした。森長社長が、初めて本格的な建築に従事されたのがこの工場とお聞きし、何かご縁を感じました。

弊社は、医薬品や化粧品、食品などの包装を扱う会社で、製薬会社、化粧品会社、食品会社など各社様に対し包装資材の販売や工場での受託包装加工などを行っております。昭和三十一年三月二十九日創業で、六年前までは旭区で本社や工場を持ち操業をしておりました。

た。同じ地域というご縁もあり、高倉工場竣工後も、枚方工場新設、大宮工場増築、さらには子会社の株式会社カナエテクノス本社工場新設を始め、長年に亘り大変お世話になってまいりました。私自身も総務の仕事をしておりました関係で、工場の建設や改修・修理等の時は窓口としてお世話になりました。特に旧本社は古い建物でしたので、雨漏りなど頻りに修理が発生し、急遽お願いすることが多々あり、その度に迅速に対応して頂き助かりました。

つい最近では、弊社の子会社カナエシーエ

パックが移転入居するため高倉工場を改修して頂きましたが、弊社が移転後、少しお仕事でのやり取りが少なくなったため寂しく感じています。

最後に、新社屋が完成され、地元の代表する企業として益々活躍されることを祈念申し上げるとともに、これからも長い付き合い合いをよろしくお願い申し上げます。



天宗瓜破東園新築工事(第2期)



設計者：貴志環境企画室
完成日：2017年6月
構造・規模：RC造・3階
施工床面積：2,046.6㎡

竣工だより

大阪府動物愛護管理センター(仮称)



設計者：大阪府
完成日：2017年6月
構造・規模：RC造・1階
施工床面積：2,848㎡

T社 新築工事



設計者：自社
完成日：2017年9月
構造・規模：S造・2階
施工床面積：571.7㎡

T社大阪本社新築工事



設計者：自社
完成日：2017年9月
構造・規模：S造・7階
施工床面積：915.6㎡

進行中現場

- 茨田大宮第1住宅3号館建設工事
- (仮称)北千里・古江台認定こども園建設工事
- 高殿タウンビル新築工事
- 守口市駅前屋外ステージ屋根取付等工事
- 大宮幼稚園改築工事
- (仮称)都島中通マンション新築工事
- 粉浜学園建設工事
- 大阪府警第二方面機動警ら隊庁舎及び改築工事

注目記事

祝 平成29年度 大阪市優良成績評定事業者表彰式

平成29年度大阪市優良成績評定事業者表彰式が市庁舎で行われました。大阪市発注案件(建築のみならず、電気設備、機械設備を含む)で28年4月から29年3月までの全ての都市整備局完成引渡案件から選ばれ対象業社数は、約3,700社になります。

表彰理由は、「長い工期の中、杭工法への提案や学校の教師、生徒への配慮、協調性が高く、また、解体中においても近隣関係との調整が的確であり卓越した会社の技術力を存分に発揮し、無事故、無違反で完成引き渡したこと」でした。



大阪府幹部の方からは当社への満足と期待を述べていただき、本当に喜んでいただけたと感じました。大阪市表彰制度ができてから17年目での快挙に表彰当日は、森長社長、太田課長も感激していました。



消防訓練の協力活動レポート



六月五日と六日の二日間、わたりの住之江区にある粉浜学園西棟において住之江消防署が破壊訓練を実施しました。破壊訓練とは震災等で建物が倒壊し、コンクリート等に囲まれた空間に閉じ込められた人を助け出すための訓練で、これから解体予定の建物を使ってより実践的に行うものです。

当日は粉浜学園の園児のみんなや先生方が見守る中、消防隊員の皆さんがセイバーソーやエンジンカッターな

近年、当社では、解体建物を消防訓練に活用する取り組みを行っています。火災時の実地訓練は、建物を破壊してしまう為、なかなか訓練を行う機会が少ないという事で、建替え等で解体のご依頼を頂いたお施主様のご協力のもと、各地域の消防署へ解体建物を実地訓練の場として提供しています。

昨年、T保育園の建替え工事にて初めて提供し、今年度もT社新社屋新築工事で提供しました。そして今年の6月に、粉浜学園建設工事でも解体建物を提供しました。その実地訓練の様子を、現場の有末所長からレポートをお届けします。



工事部所長 有末悦也



ど建設工事でも使用されるような工具を使って、コンクリートの壁に穴を開けたり鉄の扉に穴を開ける訓練を行いました。

私は、消防隊員の皆さんが声を掛け合って作業を進めていく様子や、工具の適切な使い方やアドバイスする様子を間近で見させて頂いて、建設業の現場を進めていくうえで大切な基本動作と作業手順の大切さを改めて感じました。

訓練中に出動命令が出るなど突発的な状況もありましたが、消防隊員の皆さんが即座に訓練を中止して素早く出動していく様子を見ることが出来て、園児のみんなも興味津々でした。

これから解体される建物が破壊訓練のお役に立てたようで、ただ解体してしまうだけでは味わえない充実感がありました。

また不運にも都市型災害が発生し建物が倒壊するような状況の時に、今回の破壊訓練がひとりでも多くの人命救助に役立てられることを期待しています。



園長先生は「どんな時でも出動命令が出ればかけつけないといけない」と話をしていました。タイミングで出動命令が出ました。とても重い工具などを素早く持つて大急ぎで出動していく姿を見てもう、子供たちも唾然としていました。

又、六日の訓練の最終に一番高い所より壁をつたって降下するところを見せてもらい大興奮の子供たちでした。

少しでも地域に貢献でき、又子供たちも普段見ることができないことを見せて頂きとても有難く思いました。

観終わった後、将来消防士になりたいという子供もいましたよ！



園長先生の感想 園長 星乃隆志様

幼児クラス全員で見学させて頂きました。倉庫の扉に穴を開ける工程を見ました。三角形に開けている理由も教わりました。子供

